

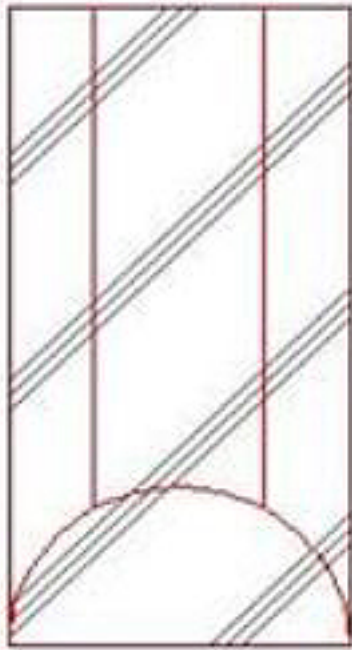
2D操作

傾斜のついた面に縁石を配置するには？

作成した傾斜地の勾配に合わせて縁石を配置する場合、『傾斜調整』機能を使用し、『縁石作成』機能で作成した縁石を傾斜面に合わせて配置することができます。

「メッシュ」ツールで描いた傾斜平面上に、「線」や「ポリラインツール」で下書き線（縁石のアウトライン）を描きます。

この時、下書き線がメッシュからはみ出さないよう注意してください。（傾斜調整が実行されない可能性があります。）



作図した下書き線を矢印ツールなどで選択し、『縁石作成』機能で縁石を作成します。作成された縁石は、適当な高さで水平に配置された状態で結構です。RIKCAD7以降は、「縁石作成」画面にて「傾斜調整」を行いながら配置する設定もあります。（「[関連項目：縁石作成](#)」を参照してください）

メニューバーより[土間 アプローチ]もしくは[編集 補助]>「傾斜調整」をクリックします。「傾斜調整」の設定画面をパレットを表示します。

2D操作



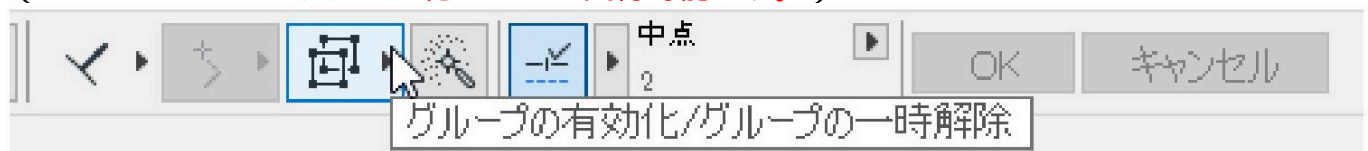
傾斜面を「矢印」ツールなどで選択状態にし、「土台要素を取得」ボタンをクリックします。

次に傾斜面に合わせる為に作成した縁石を選択状態にし、「対象要素を取得」ボタンをクリックします。

画面下側の制御ボックスより「グループ化の一時解除」を行います。
制御ボックス内の「グループの有効化/一時解除」ボタン（下図参照）を長押しし、『右側』の

一時解除のボタンを選択します。

（ RIKCAD7/8/9はグループ化のままで実行可能です。 ）



「傾斜調整」の設定画面下側の『回転タイプ』にチェックを入れ、「実行」ボタンをクリックします。

傾斜調整が実行され、「対象要素」として選択指定された面が土台の傾斜に沿って表示されます。

2D操作

傾斜調整

x

土台要素を取得

1 個の土台を選択しています。

対象要素を取得



75 個の傾斜対象を選択しています。

傾斜対象要素の形状

スラブ、メッシュ

オフセット

☐ 土台重複部を削除する



オブジェクト

☒ 回転タイプ ☐ 変形タイプ

実行

3Dウィンドウを表示して、傾斜調整が実行されているかどうかを確認して完了です。



2D操作

縁石の他にも、『車止め』や『手摺り系フェンス』などパラメータ欄に『傾斜可能』といった記載があるオブジェクトは、同様の手順で斜面に沿って配置することが可能です。

 **カスタム設定**

名称	車止め	
タイプ	長方形	
横幅	500	
縦幅	100	
高さ	100	
カラー	薄灰	  
配置数	1個	
間隔	500	
単価	0	
傾斜可能		
傾斜リセット		<input type="checkbox"/>

【関連項目】

- ・ [傾斜調整](#)

一意的なソリューション ID: #1160

製作者: 亀田

最終更新: 2020-05-07 15:31